

2007 年 9 月 4 日

各加盟組織委員長 殿
同 青年部長 殿

日本医療労働組合連合会
中央執行委員長 田中 千恵子

第 31 回青年代表者会議の開催および 青年部実態調査・活動報告について

連日のご奮闘に敬意を表します。

日本医労連青年協議会では、8 月 24～26 日に、第 14 回全国アクト in 九州を 500 名の参加で成功させ、すでに、各地の大会でも単組・支部の執行委員になったとか、青年部づくりに取り組み始めたなどの声を聞いています。

さて青年協議会の大会となる第 31 回青年代表者会議を、以下の日程・場所で開催します。信頼しあえる仲間づくり、働きつづけられる職場づくり、平和憲法守る課題、また今年の全国アクト in 九州を総括し、来年のブロックアクトや全国組合の青年集会を成功させるための意思統一の場としたいと思います。

各加盟組織からの代表者 1 名については、日本医労連旅費規程に基づいて、費用保障されることになっています。従来以上に多くの青年に参加いただけるようご配慮をお願いいたします。

なお、併せて今年度の「青年部実態調査」を行います。昨年度から記入様式を変え、青年部の基礎調査と、活動報告についてはニュース形式での提出をお願いしています。分かりやすく交流しやすい資料づくりをめざしておりますので、引き続き、ご協力よろしくをお願いいたします。

記

日 時：2007 年 10 月 27 日（土）13 時半～28 日（日）12 時

会 場：シーパル須磨（神戸市立国民宿舍須磨荘）

〒654-0055 神戸市須磨区須磨浦通 1-1-1 TEL 078(731)6815 FAX078(734)1896

※場所は別紙の交通案内を参照してください。

今回は、宿泊・夕食会場も同じです。

- 内 容：**①06年度青年協議会活動の総括（アクト総括含む）
②07年度青年協議会の運動方針について
③07年度役員体制の選出・特別中央委員・特別代議員の選出
④その他

旅 費：以下の者に旅費規程に基づき、旅費・日当・宿泊費を支給・負担します。

①日本医労連青年委員

②各加盟組織代表1名（申込み用紙に、交通手段・経路等含め明記のこと）

※組織代表以外の参加者については、宿泊・交流会費として、15,000円（1泊2食）を徴収します。夕食交流会のみの参加は、7000円です。

締め切り：

実態調査と活動報告 10月9日（火）までをお願いします。必ず報告を。

代表者会議参加 第1次：10月9日（火）、最終：10月16日（火）

【重要】各組織へのお願い：

①各組織の青年組織の実態調査・活動報告をお願いします。別紙調査用紙・活動報告見本を参考に、記入・作成をお願いします。

②青代では、ポスターセッションを行います。各組織の1年間の活動報告を模造紙に写真や文字などでカラフルに表現していただければ幸いです。できるだけ持参をお願いします。または事前に事務局へ郵送をお願いします。またプロジェクターとパソコンを準備しますので、「パワーポイントやスライドショー」での報告も可能です。積極的な準備をお願いします。ポスター掲示・パソコン使用予定の組織は事前にお知らせください。

③代表者会議での各組織で配布資料などがある場合は、150部を事前に事務局に送付していただくようお願いします。

問い合わせ

日本医労連青年協議会事務局（松尾）

東京都台東区入谷1-9-5 電話 03-3875-5871 FAX03-3875-6270

E-mail: seinen@irouren.or.jp

以上

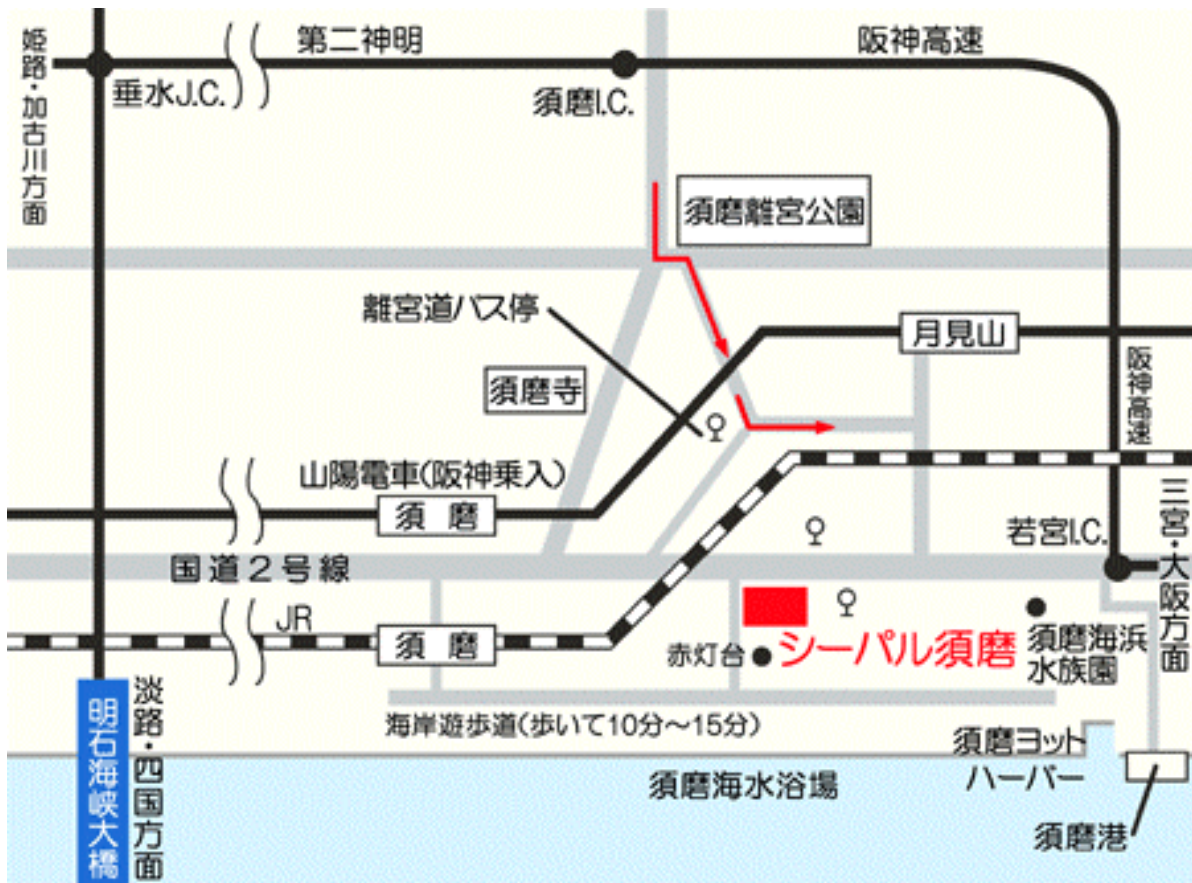
【交通の案内】

シーパル須磨 (神戸市立国民宿舎須磨荘)

〒654-0055 神戸市須磨区須磨浦通 1-1-1

TEL 078(731)6815 FAX078(734)1896

- JR神戸線ご利用で： JR 須磨駅から徒歩 12 分・又は市バス 75 系統 5 分 離宮道バス停下車約 2 分
- 山陽電車ご利用で： 山電月見山駅及び須磨駅から徒歩 15 分
- 山陽新幹線ご利用で： 新幹線新神戸駅から地下鉄新長田駅下車 タクシー8分
- お車で（東方面から）： 三宮・大阪から阪神高速若宮 I.C.西へ 2 分 浜側
- お車で（西方面から）： 姫路・加古川から第 2 神明須磨 I.C.南へ 6 分



第31回青年代表者会議 (07.10.27-28、神戸市シーパル須磨)

月 日現在

参加申込書

組織名() 報告者() TEL()

単組・支部	氏名	職種	性別		27日			28日	代表者 に○を	備考 (代表者の交通手段・経路を正確に記入すること)
			女	男	会議	夕食	宿泊	会議		
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										

送付先FAX:03-3875-6270(日本医労連) またはメール seinen@irouren.or.jp まで!

申込み締め切り: 第1次10月9日(火)、最終10月16日(火)

2007年9月・青年組織実態調査表

組織名	記入者	連絡先	記入日
			月 日

1. 青年組織について 該当箇所に○もしくは記入・選択してください

①青年部の有無 ある ・ なし ある場合の名称

②あると答えた組織 → 大会の日程(予定)について 月 日 ~ 日

③なしと応えた組織 → 青年組織立ち上げの展望について ある ・ ない

→ 展望があるという所は、現状と今後の予定について記述してください。

2. 役員体制について

____ 単組・支部 _____ 人で構成

主な役員(4役クラスまでで結構です)

役職名	氏名	単組・支部	E-MAILなど
1			
2			
3			
4			
5			
6			

日常的な代表(青年担当者)連絡先

氏名	TEL	FAX	E-MAILなど

3. 青年部費・青年対策費について

年間予算 _____ 円

4. 意見・要望など

※青年部としての悩み、今後の課題や問題意識、日本医労連への意見・要望など。

ご協力ありがとうございました。またニュースや資料がある場合は郵送・メール願います。

活動報告作成例

〇〇医労連青年部

〇〇医労連青年部には、県内10単組・支部の青年部が結集しており、約300人の青年で活動しています。基本的には組合員で30才までの男女が自動的に青年部員となりますが、単組によっては、年齢制限がないところ、女性部との選択制になっているところなどもあるようです。

毎年10月に行う「定期大会」を節目とする一年サイクルで活動しており、役員もそこで選出されます。選出された役員は、月1回の「役員会」を開催し、日常活動の具体化をしています。また、大会と大会との間に3～4度の「代表者会議」を行って、季節ごとの方針を確認しています。

今年度は「平和」「交流」「学習」をテーマに活動しており、以下のようなとりくみを行いました。

10月10日	成果主義問題学習会（親組合との共催・60人参加）
10月中旬	要求アンケートの実施（各単組を通じて全青年部員へ）
11月 7日～ 9日	〇〇平和ツアー（〇〇県・40人参加）
12月 8日	議員要請（代表者会議で論議してまとめた要請書を作成。各単産の代表と役員あわせて10人が参加）
12月20日	クリスマスパーティ（△△ホテルにて・約100人参加）
3月10日	青年中央行動（各単産・役員を含め15人参加）
7月10日	〇〇青学連主催・平和夏まつりへの参加（××市にて・青年部から10人の参加）
10月20日	第30回定期大会（開催予定）

また、その他にも、親組合主催の一部とりくみへの青年の参加よびかけ、県労連青年部のとりくみへの参加なども行っており、それぞれのとりくみをニュース（不定期・おおよそ3ヶ月に一度発行）で全青年部員にお知らせしています。



昨年の定期大会のようす

職場の人員削減などで、役員が集まるだけでも困難であり、あまり相談ができないのが悩みです。今年から毎回会議の場所を変えており、各役員を選出単産を順番に会場にしています。

また、会議の終わったあとは必ずのみに行くことに決めており、家に帰るのはいつも終電というのも悩みです。しかしそのおかげで（？）役員の間は、団結は強く、「どうしてもっと青年部活動に参加してもらえないか」「青年の要求ってなんや」と合うたびに議論を重ねています。

日本医労連青年協の活動には、これまではあまり多数は参加できておりませんが、都道府県を越えた交流

の場として期待しておりますので、来年の全国アクト in 九州には、多数で参加し、ともに盛り上げていきたいと思っています。

埼玉医労連青年部

埼玉医労連の定例会は毎月一回を原則に行われます。

本年度、定例会では、主に群馬で行われた関ブロアクトへの参加、夜祭りにおける埼玉の出し物の企画、練習などに関する議論を通して、青年部役員間の交流を深めました。

1、企画・行事

企画・行事の関係では、1月22日に埼玉医労連青年部の大会に4名が参加をし落語家桂福車師匠の講演「21世紀は組合だ」を聞き楽しみつつ、組合の大切さを学びました。

1月29日には、埼玉医労連として「靖国見学ツアー」を開催し、靖国神社へ行く前には高田馬場駅前で憲法パンフを配布し、憲法宣伝も行いました。ツアーには12名が参加し、「年に1回くらいはこういう企画で交流をしよう」という意見も参加者から出されました。



1月に開催した靖国見学ツアーにて

関信ブロックアクトには8名が参加しました。2件のキャンセルがあり目標とする10名に後一步で及びませんでした。定例会をとおしてアクトに集中した議論、アクト準備を通して交流（6月以降、定例会は事実上出し物練習の場となっていた）を深めた結果、2000年代では最高の到達となり、次回につながる取り組みとなりました。

2、課題

現在、埼玉医労連青年部における最大の悩みは、後任の青年部役員の育成と参加者を増やすことです。会議の参加を通して楽しさ、やりがいを感じる事が出来る青年部作りをどうするのか、役員は悩んでいます。